

島根県出雲市におけるツヤヒラタガムシの記録*

林 成 多

ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

Record of *Agraphydrus narusei* (M. Sato) from Izumo, Shimane Prefecture

Masakazu HAYASHI

Hoshizaki Green Foundation, Okinoshima 1659-5, Sono,
Izumo, Shimane Pref., 691-0076 Japan

Key words : *Agraphydrus narusei*, Hydrophilidae, Shimane Prefecture, river
キーワード: ツヤヒラタガムシ, ガムシ科, 島根県, 河川

ツヤヒラタガムシ *Agraphydrus narusei* (M. Sato) はガムシ科マルガムシ亜科に属する体長 2.1–2.2 mm の小型のガムシで, 本州から屋久島まで分布する (佐藤, 1985; 佐藤・吉富, 2005). 清流に生息する種で, 少ないとされている (佐藤, 1985). 筆者は, 島根県出雲市の島根半島の河川にて本種の生息を確認したので報告する. 採集記録は以下の通りである.

1ex. (図 1), 島根県出雲市大社町鷺浦 八千代川 (mc: 5332-1514), 8.V.2005, 筆者採集. 標本はホシザキ野生生物研究所に保管されている.

本種を確認した地点はスギの植林の中を流れる八千代川で, 直径 20–40 cm ほどの亜円～亜角礫が多い (図 2). 本種は川辺の水流の弱い場所の水中で, 礫上を歩行していた. 小型であるため, 非常に発見しにくい. 個体密度が低いため, 1 個体のみの確認となった.

島根県におけるガムシ類の生息状況は, 川野 (2005) により, 止水性の種については解明されつつあると言える. しかし, 流水性の種については, ダルマガムシ科を含め, 不明な点が多い. 本報告

のツヤヒラタガムシは, おそらく島根県では初めての記録である. なお, 筆者は隠岐の島後でも本種を確認している (未公表). 今後, ガムシ科を含めた流水性の甲虫類について, さらに調査を進めていきたいと考えている.



図 1 ツヤヒラタガムシ



図 2 八千代川の確認地点

文 献

- 川野敬介 (2005) 島根県東部の止水性水生昆虫.
ホシザキグリーン財団研究報告, (8): 77–97.
佐藤正孝 (1985) ガムシ科. 上野俊一ほか (編)
「原色日本甲虫図鑑 (II)」: 209–216, pl. 38–
39. 保育社.
佐藤正孝・吉富博之 (2005) コウチュウ目 (鞘翅
目) Coleoptera. 川合禎次・谷田一三 (編)
「日本産水生昆虫 科・属・種への検索」: 591
–658. 東海大学出版会.

* ホシザキグリーン財団研究業績 第 38 号